

**「東北電力株式会社 原子力発電所における燃料集合体チャンネルボックス
上部（クリップ）の一部欠損について（中間報告）」の概要**

1. 点検等の状況

【東通原子力発電所】

東通 1 号機の使用済燃料プールに貯蔵保管されている全燃料 6 0 8 体について、チャンネルボックス上部の外観点検を実施した結果、チャンネルボックス上部クリップ接合部に欠損がある燃料は確認されなかった。

【女川原子力発電所】

女川 2 号機の使用済燃料プールに貯蔵保管している燃料 1, 8 0 7 体（東北地方太平洋沖地震時に原子炉に装荷されていた燃料 5 6 0 体を含む）※¹について、チャンネルボックス上部の外観点検を実施し、欠損の可能性があると判断された燃料の詳細点検を実施したところ、1 3 体の燃料のチャンネルボックス上部クリップ接合部に一部欠損（最大で長さ約 1. 1 c m※²）があることを確認した。

女川 3 号機の使用済燃料プールに貯蔵保管している全燃料 1, 3 8 6 体（東北地方太平洋沖地震時に原子炉に装荷されていた燃料 5 6 0 体を含む）のうち、一部欠損が確認された 1 8 体を除く燃料の健全性確認の一環として、抜き取りによるチャンネルボックスおよび燃料集合体の外観点検を実施した結果、損傷、変形等の異常がないことを確認した。

※ 1 全燃料 1, 8 9 5 体のうち、チャンネルボックスが装着されている燃料

※ 2 チャンネルファスナにより欠損部長さが確認できないものを除く

2. 今後の対応

【東通原子力発電所】

東通 1 号機においては、現在原子炉内に装荷されている燃料 7 6 4 体について、次の原子炉開放時にあわせて、チャンネルボックス上部のクリップ接合部の外観点検を実施する。

【女川原子力発電所】

女川 2 号機においては、今回一部欠損が確認された 1 3 体について、チャンネルボックスおよび燃料集合体の外観点検を行い、燃料集合体の健全性の評価および原子炉施設への影響の評価を実施する。また、今後も点検計画に基づき、女川 1 ～ 3 号機の燃料の健全性評価を実施していく。

また、チャンネルボックスに欠損が発生した要因については、「製造欠陥（溶接不良）」および「接触による損傷」の 2 つに絞り込んでおり、引き続き、更なる分析を行うとともに、今後の調査により新たな知見が得られた場合には、必要に応じて要因分析の見直しを行い、原因の究明ならびに再発防止対策について、1 1 月末を目途に検討をすすめる。

以 上

[添付資料] 女川 2 号機の燃料のチャンネルボックス上部の欠損状況（例）